

1. 遺跡名 さがみ縦貫道路関連遺跡
上依知上谷戸遺跡
(かみえちかみやと)
2. 所在地 厚木市上依知地先
3. 時代 縄文時代、平安時代、中近世
4. 調査概要

本遺跡は相模川中流域の西側河岸段丘上に位置しています。調査は、さがみ縦貫道路建設に伴う事前調査として行われ、調査面積約 13,000 m²です。

発掘調査では縄文時代、平安時代から中近世の遺構・遺物が出土しました。縄文時代では当時の調理施設(集石)と多数の陥穴と思われる穴(土坑)が検出されています。また平安時代では集落や耕作地、中近世では耕作地やお墓などが見つかりました。





縄文時代中期の集石



縄文時代の陥穴